

編集後記

平成13年：21世紀の初頭に第4号を刊行することができました。

振り返って見ると、1999年から2000年の正月までは、コンピュータの2000年問題で騒がしく、破局は来ないにしても大変な事態が生じるのではと、かってないお正月を迎える準備をした。多少なりともパソコンを使って仕事をしている者にとっても、データの退避や複製にと大童であった。幸い大きな混乱もなく、2000年問題は乗り切ることが出来た。これを大山鳴動ネズミー一匹又は杞憂と言って2000年問題を軽視する人もいた。しかし、若干のトラブルで済んだことは、関係者が最善を尽くして対処したからに外ならない。問題を過大視したのではなく、最善を尽くしたする方が妥当である。放置していたら大変な事態が生じていたことは間違いない。

コンピュータ業界は、以後IT革命とかで非常に活況をていし、景気回復の牽引車となっているが、日本経済全体は、依然として景気の低迷に喘いでいる。社会に巣立つ学生たちも、ここ数年あおりを受けて、深刻な就職難である。年報に寄せられた今年度卒業生の文は、真摯で希望に満ちているが、図書館司書としての就職が大変であることを認識していることが節々に窺えて、心痛む次第である。

今号では、大塚さんが、このような時に回り道をしながらも、初志を貫きみごと道立図書館に就職した経緯を詳細に記事にして下さったことは、「意志あるところ、道あり」の言葉を如実に証明し、卒業生や現在司書資格取得に頑張っている在校生に一つの道を照らしてくれました。冨永さんは、平成11年に卒業してまだ「ほやほやの司書」として、希望に満ち充実した日々をおくっていることが窺えます。安里さんは、日々図書室の運営に心を砕き、図書室になくてならない人として生徒たちに信頼されていることを知ることが出来ます。No.3では「インターネット利用の就職情報」の文を寄稿下さった野村知子さんは今号では、電子出版を巡る出版界・取次会社・書店・図書館などの変貌の最新情報が述べられていて、図書・情報関係者にとっては見逃すことの出来ない論文です。

年報編集の楽しみは、在学生在が司書課程受講の動機や図書館実習で経験した貴重な体験文に接するのは勿論のこと、北は北海道から南は沖縄まで全国に散らばった卒業生の図書館活動の報告を受けるときです。年報を手にする皆さんも同様であろうと思います。この年報が、卒業生の交流の場となり更に発展することを念じて、皆様の投稿をお願いいたします。

今年も学生が、図書館実習のため各地の図書館に赴き、講義では得ることのできない貴重な経験を重ね、図書館が何であるかを体験したようです。ご多忙のなか足手まといの学生の図書館実習をお引き受け下さいました図書館の方々並びに図書館見学の際ご案内・ご説明下さいました森嶋外記念館、中原中也記念館、松本清張記念館、福岡市総合図書館、福岡市博物館、三日月町立図書館、柳川市立図書館、北原白秋記念館の方々にこの場をかりてお礼申し上げます。

司書課程年報

No. 4

2001年3月10日発行

編集発行

別府大学・別府大学短期大学部司書課程

〒874-8501 大分県別府市北石垣82

電話 0977-66-9635

印刷所

㈱クリエイツ

〒874-0022 大分県別府市亀川東町4-20

電話 0977-66-3676
